

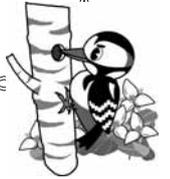


議会だより だよろ

18

No.

2010 .11 .1 発行



9月4日、地域公開参観で収穫祭の献立を考える。
(名寄小学校)

9月11日、「フロンティア
ハウスふうれん」の敬老会
で元気に踊りを披露
(風連幼稚園児)



9月2日、おたる水族館
バックヤードツアー(水
族館の裏側案内)で魚貝
の飼育について説明をう
ける。
(名寄南小学校修学旅行)

第3回定例会

主
な
内
容

定例会で決まったこと	2
審議日程・可決された意見書	2
決算審査特別委員会・議員協議会	3
一般質問に13人・用語解説	4 ~ 10
議会報告会	11
議会スナップ	12
各委員会活動報告	13
へこたれない・議会日誌・編集後記	14

第3回定例会 9月7日から9月30日までの24日間

～ 市立病院 人材確保に1,000万円追加～ 市立病院基金に1億1,000万円積立

平成22年第3回定例会は、9月7日から9月30日までの24日間開かれた。

議案審議では、条例案4件中3件を総務文教常任委員会に付託し、残る1件を可決した。このほか、補正予算案7件、平成21年度決算の認定議案3件、その他議案7件、意見書案4件を可決・認定した。補正予算では、地域医療の担い手である医師、看護師等の人材確保のため、1,000万円を追加した。

一般質問は、9月17日、21日、22日の3日間行われ、13人の議員が登壇し、市政の課題についてたじた。

主な条例

名寄市パブリック・コメント手続条例

政策等の立案過程で市民の意見をつのり、政策等の意思決定に反映させるとともに、意見に対する市の考え方を公表するための手続きを定めるもの。総務文教常任委員会に付託。

名寄市児童館条例

名寄市女性児童センターの女性センター機能を廃止して、児童センター機能のみとする一方、風連地区の児童会館業務と児童クラブ業務を分離して管理するため、名寄市女性児童センター条例と名寄市児童会館条例を統合した条例とする。総務文教常任委員会に付託。

名寄市児童クラブ条例

名寄地区と風連地区の児童クラブ運営事業を共通したものとする。総務文教常任委員会に付託。

審議日程

9月7日(火)	9月27日(月)
・開会	決算審査特別委員会
・委員長報告 (付託議案)	9月28日(火)
・行政報告	決算審査特別委員会
・議案の審議	9月29日(水)
9月17日(金)	決算審査特別委員会
・一般質問	9月30日(木)
9月21日(火)	決算審査特別委員会
・一般質問	・委員長報告 (付託議案)
議会運営委員会 総務文教常任委員会	・意見書案審議
9月22日(水)	・閉会
・一般質問	
・議案審議	
経常任委員会	

主な補正予算

基金積立金

農産物処理加工施設などの建設と、既存公共施設の改修などに備え1億2,000万円を公共施設整備基金積立金に追加。大学図書館の建設を見据え、大学振興基金に1億円を追加。

病院事業会計繰出金等

地域医療の担い手である医師、看護師等の人材確保を図るため、市立病院基金積立金に1億1,000万円を積立し、病院事業会計繰出金1,000万円を追加。

(仮称)複合交通センター整備事業費

名寄駅横に建設予定の(仮称)複合交通センターの地質調査と、基本・詳細設計実施のため調査委託料2,562万円を追加。

ピヤシリスキー場整備事業費

ピヤシリスキー場の圧雪車購入に対し、ピヤシリスキー場整備事業として3,780万円を追加。

可決された意見書

- ・道路の整備に関する意見書
- ・B型肝炎問題の早期全面解決を求める意見書
- ・義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員定数改善、就学保障充実など2011年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- ・公共投資の推進による景気対策を求める意見書

平成21年度 決算審査特別委員会

原案どおり認定

平成21年度決算審査特別委員会は、9月7日正副委員長を選出し（竹中憲之委員長・持田健副委員長・全議員で構成）実質審査は9月27日から30日までの4日間開催した。

昨年までは、10月・11月の閉会中に実質審査を行い12月定例会で報告していたが、今年から9月の第3回定例会中に審査・結審し、報告することとなり、審査結果が新年度予算編成に、より反映されることとなった。

一般会計と国民健康保険特別会計は、起立採決により原案どおり認定すべきものと決し、老人保健事業特別会計ほか6特別会計と、病院・水道の2公営企業会計については、全会一致で原案どおり認定すべきものと決定した。

審査では、各会派の代表者4人の総括質疑を行い、各会計では延べ45人の委員から質疑があり、市長をはじめ関係職員より説明・答弁を

いただいた。

行財政改革・ゴミ処理・雇用・保育・農業・観光・市立病院の強化・事業発注のあり方・特別支援教育・インフルエンザワクチン・除雪サービスなどについて熱心で活発な質疑がなされた。財政状況が厳しい中にあるが、平成23年度予算に対する提案・提言も多く出された。

本年より自治基本条例が施行され、市民への説明責任をはじめとする条例に沿った市政運営がより一層求められる。より良いまちづくりが進められるようお願い結審した。



竹中 憲之委員長（左）と持田 健副委員長（右）

議員協議会

駅横 23 年度から着手

8月24日議員協議会が開催され、冒頭7月29日の大雨災害による被災住民に対するお見舞いに続き、災害の状況と経過、豊栄川河川整備の前倒し事業等に対する災害対策費4,000万円を補正する旨が報告された（9月定例会で専決処分事件として承認した。）。2件目は、名寄市過疎地域自立促進市町村計画（案）平成22年度～27年度）の説明を受けた。これは国の過疎法の失効期限が6年間延長されたことに伴い、新たに平成27年度までの計画を策定。計画を策定することで、有利な過疎債が利用でき、事業費の70%相当が地方交付税で処置される。総合計画と整合を図りながら、農林業、産業振興、医療、教育すべての分野で対応ができ、事業費の負担軽減となる。3件目のJR駅横整備事業では、（仮称）複合交通センター、西條

の商業集客施設の計画構想が報告された。複合交通センターは、バスターミナル、観光インフォメーション、レンタサイクルのほかに、老朽化のため26年度閉館予定の市民会館の機能も併用する構想。西條は、全体の事業計画では商業施設をはじめ賃貸住宅、有料老人ホームの建設を23年度から着手予定。議員からは施設規模拡大による事業費の増加や西條の事業完遂度を不安視する質疑があったが、事業費は膨らまず、西條は駅横の固定資産税を納付済みであり、計画通り推進可能であるとの答弁があった。



一 般 質 問



子宮頸がんワクチンの
助成を

公 明
高橋 伸典 議員

■ ワクチン接種率を高め予防を

問 3回の接種で約5万円がかかる。高橋知事も道費助成を表明。厚労省の来年度予算にも盛り込まれた。子宮頸がんワクチンの公費助成の考えは。

答 8月末現在で、道内22市町村で実施され、13市町村が実施予定と、助成が拡大されている。道も市町村の動向を踏まえ、できる限り支援をすると報道されている。当市においても、国・北海道・道内市町村の動向を見ながら、次年度に向け公費助成を前向きに検討する。

■ 減災・防災対策の強化を

問 被災者への支援制度の考え方は。避難実施要領、災害時要援護者の避難支援計画の取り

組みは。災害対策本部と各部署、災害現場との連携と対策は。

答 今回の被災状況では、国や当市の支援制度の適用にならない。床上浸水の住宅被害者に、固定資産税の一部が減免となる見込みのほか、国の雑損控除が認定されると23年度市民税の減額の可能性もある。町内会から事前に要援護者情報を提供していただき、被災時に最優先で避難救出を行う。地域での自主防災の意識も高めたい。災害情報収集時から両庁舎体制を含め、災害現場で指揮をとる現地対策本部を配置し、適切な対処をしていく。



小学校6年生以上の女子への早急なワクチン接種助成が望まれる



市民への説明が不足

市民連合
佐藤 靖 議員

■ 市の懸案事項について

問 NPO法人なよる観光協会への事業移管から間もなく10年を迎える。見直しの必要もあるのではないかと。名寄の冬を楽しく暮らす条例のうち、市の責務が果たされていない。市民の役割を求めるのであれば、市の責務は当然果たすべき。市立病院医誌に掲載された各科の課題解決策と具体的な看護師確保策は。

答 観光のあり方について、今年11月から関係者と議論を進める。市の責務に関しては、部次長会議で検討してきたが、適切な事務処理ではなかった。病院内各科の課題については、院内で協議・検討を行い、正確な情報を返したい。看護師を減らさないため、メンタルヘルス・ケア

のシステムも構築する。

■ 都市再生整備計画は説明不足

問 都市再生整備計画が今年度から5年計画でスタートしたが、(仮称)複合交通センターを含め、全般的に市民への説明が不足している。また、集まった人が商店街に流れる仕組みづくりも欠けているのではないかと。

答 (仮称)複合交通センターに関して、市広報を通じ10月に市民意見を募集する。整備計画は、後期総合計画の中で説明し、意見を伺いたい。



商店街のにぎわいも期待される

一般質問



農作物のカラス被害は

清風クラブ

谷内 司 議員

■ カラス対策をどうする

問 内淵最終処分場にはカラスが多く、農作物の被害に多額の損害賠償をしているが、今年のは状況は。また、プラスチックごみが飛散しているが対策は。

答 カラスの補獲に箱罠2基を設置し、週10羽程度捕獲している。爆音機を9台設置している。被害をなくすため、生ごみを処分場に入れないように市民に分別の徹底をお願いする。プラスチックは生ごみと同じく、分別の徹底と、排出の指導に中断なく努める。

■ 保証人の役割と責任は

問 公営住宅入居者に91件の未収金があるが、中には保証人のいない人もいる。保証人の役割



豪雨被害に支援対策を

市政クラブ

黒井 徹 議員

■ 農業被害の支援対策は

問 7月29日の豪雨は記録的で、多くの畑作物に大きな打撃を与えた。経営収支への影響が大きく、行政の支援対策を。過疎地域自立促進計画における近代化施設事業は。

答 冠水被害は、約279で123戸が被災した。他にも湿害があると思われる。今後、収穫を見極めて農協と協議して支援を行う。近代化施設については、玄米バラ集出荷調製施設だが、国の補助事業採択は厳しい状況で、1年をかけて国に要望していく。

■ 都市再生整備事業

問 この事業は、総合的に計画の情報が市民に示されていない。市民は、事業に対する疑義が

と責任は。瑞生団地は、築30年以上と古く下水道も入っていないが、建て替え計画は。

答 保証人は入居期間中の諸問題に対応し、滞納家賃納入などの責務がある。保証人の調査結果は815戸に調査票を配布、回収は612戸である。未提出者は133戸で、訪問・電話で提出を求める。瑞生団地は、昭和50年から54年で100戸建設された。老朽化しており、トイレの水洗も未整備であり、早期に事業着手が必要と認識している。平成24年度に計画を見直し、明確に位置づけする。



老朽化の進む瑞生団地（風連）

あるようなので、明確な説明を求める。

答 (仮称)複合交通センターには、バスターミナル、レンタサイクル、商工会議所、市民会館機能を持った各種会議室を設置する。3-6地区については、ビルと駐車場を整備するが、地権者との協議が進んでいない。文化ホールは、現在、庁内協議を行っているが、実施設計には1年が必要。場所、規模については、早急に結論を出し、23年度には予算化する。他の質問・豪雨対策について・総合案内窓口について



7月29日の豪雨は収穫に大打撃を与えた

一 般 質 問



大会出場補助の拡大を

凜風会
日根野 正敏 議員

全道、全国出場補助の見直しを

問 文化・スポーツ振興補助交付基準の宿泊助成 1泊 2,000 円は、他の市町村と比較して水準が低い。また、交通費補助も中体連のみが全額補助で、他の大会は公共交通利用が原則で半額補助、交通網の不便な地方での大会もあり利便性の向上と補助交付基準の見直しを。

答 宿泊助成の基準については、保護者の費用負担軽減を考え検討していきたい。交通費助成については、利便性に配慮しバス利用等の適用条件を、より実情にあったものにしたい、中体連以外の大会についても検討していきたい。

真狩川の安全対策を

問 7月29日の大雨で真狩川がはん濫し、民



市民が主役のまちづくり

緑風クラブ
大石 健二 議員

名大医学部新設の可能性は

問 名寄市立大学は本年5月、前身の名寄女子短期大学の開学から50年目の節目を迎える。六千人余の卒業生、在校生、教職員と関係者、そして市民が共有する将来構想を策定する必要があるのではないか。短期・中長期計画を策定していない名寄市立大学の将来構想に、医学部新設の可能性を探る余地はないか。

答 名寄市立大学の開設時に薬学部設置について検討した経緯がある。医学部新設は財政面や教官等の人材確保に課題が多い。

ひまわり観光の振興を

問 「ひまわり」は名寄の代名詞となりつつある。市内に作付されているひまわりを素材に、

家・農作物等に大きな被害をもたらしたが、このような被害を出さないための今後の計画は。

答 真狩川の改修は、現状では国庫補助がなく、鉄道横断、国道横断など膨大な費用がかかるため、1級河川に昇格していただき道の事業としての整備を要望していく考えだが、時間がかかる。応急対策として、土または土嚢による堤防のかさ上げで対応したいと考えている。

他の質問・病児保育の検討実施・名寄庁舎総合案内窓口について



10年前にもはん濫をした風連地区南側を流れる真狩川

「茎丈コンテスト」「ひまわりの顔デカコンテスト」の開催など知恵を絞ってはどうか。映画のロケ地を積極的に誘致する映画フィルム・コミッションの取り組みを展開する考えはないか。

答 映画「星守る犬」のロケ地は、関係者がインターネットで検索していて偶然発見したと聞いている。フィルム・コミッション等の部署等は名寄観光の振興面から検討していきたい。他の質問・名寄の商工振興策を問う・名寄市職員人事評価制度を問う・全国学力学習状況調査から名寄教育行政を問う



ひまわりが咲き乱れるマチに

一般質問



初動確立が防災の一步

市政クラブ
佐々木 寿 議員

局地的災害の初動組織

問 7月の大雨災害は、防災訓練と異なる課題が出たが、今後、初動体制はどのように対応するのか。また、自主防災組織体制を早急に推進すべきと思うが見解は。

答 今回の豪雨の課題を踏まえ、局地的な災害の初動組織を、(1) 情報収集時から名寄と風連の両地区に災害対応体制を組む。(2) 災害時は両地区に地理に明るい職員を配置。(3) 風連地区はサブ本部を置き副市長が指揮。(4) 現場指揮者を定め、早期に避難勧告等を出すことで対応する。また、防災士を養成し自主防災組織の立ち上げも一方策とするが、町内会に過大な負担をかけずに、自主的にできることから着実な



地域の実態把握を

市民連合
植松 正一 議員

東地区学童保育施設整備は

問 東地区から通所している学童保育施設が、旧中央保育所に移転する。交通安全の課題などから、以前から東地区に学童保育施設の設置要望があった。全家庭を対象にアンケートを実施し、多くの賛同をいただいた。東小学校からも一定の理解を得て、学校・コミカレ・地域・保護者で設立準備委員会を立ち上げた。当初から行政に頼るのではなく、試験的開設を実施するが、施設としての認可など市の対応は。

答 同校への相談があったことは承知している。運営計画書・規約など添付された要請の内容を見極めて、開設支援を判断する。

畑作物の被害状況は

積み上げが肝要と考えている。

質の高い行政サービス

問 職員のモチベーション³向上と市民サービス向上の取り組みは。

答 職員の意欲を引き出し、高めて、資質・能力の向上を図る目的で「新・名寄市人材育成基本方針」を平成22年3月に制定して人材育成の方策を講じてきた。今後も質の高い行政サービスができるよう職員資質の研鑽に努めていく。他の質問・北海道障がい者条例・地域包括ケアシステムの取り組みについて



7月29日深夜 豊栄川はん濫による水害現場(旭ヶ丘)

問 大豆以外の畑作は、湿害の影響でこれといった収穫は望めず、今後の営農が心配である。智恵文地区を実態調査したが、過去60年間で最悪の年との話もあった。市も独自に調査し状況を把握し、来年の営農に影響が出ないような支援として、借入金の償還猶予、無利子対策など、担い手が希望を持てる対策を。

答 智恵文地区を中心に畑作の被害が大きく、減収が見込まれる。今後、収穫の状況、共済の補填状況等を見極め、資金対策、営農に支障の出ない対策などを検討する。



豪雨災害と湿害に見舞われた畑

一 般 質 問



市内企業の育成を

市政クラブ

東 千春 議員

■ 市内企業の育成を

問 新たな住宅リフォーム制度として、経済効果と共にまちなか景観に配慮するなど、公共の利益を加味したものが望ましいのではないかと。住宅建設の市内企業への受注促進策は。王子版紙の炭ガラ利用は。

答 住宅リフォームは、景観なども意識し国や道の制度を利用し、企業とも相談しながら考える。住宅建設では、若手職員のアイデアや、情報交換を進め受注向上を目指したい。炭ガラは駐車場に利用したが、さらに利用促進を図りたい。

■ 市立病院の経営は

問 医療職給与表の整備は。東側研修医住宅



センターハウスを残せ

凜 風 会

佐藤 勝 議員

■ 存続は地域の悲願

問 センターハウスは、昭和 56 年建設以来望湖台自然公園の中核施設であり、高齢者の集いの場、誰でも気軽に使える施設としての役割も高まっている。最低限の補修で存続すべきだ。

答 昨年 3 月、廃止検討の施設とし、11 月から地域での意見交換を続けてきた。意見の内容は、存続について賛否両論で非常に判断が難しい。地域の皆さんのくつろぎの場と理解はしつつも一自治体で二つの公共温泉を維持できるか、築 28 年が経過していて老朽化が著しい、ボイラー等の傷みが激しい、委託料無しで経営可能かなどを考えると大変厳しい結論を出さざるを得ない。結果は今後、地域で説明する。

を解体し駐車場に。また、精神科病棟建て替えに合わせて病院敷地内に保育所を新築し 24 時間保育を進め、現保育所跡地を駐車場としてはどうか。東病院を市立として残すことも選択肢では。

答 給与表の整備は必要で作業を進めている。駐車場整備は、提案の方法で一定のスペースが確保できるので検討する。24 時間保育は職員からも要望があり専門業者と協議した。病棟改築計画もあり、総合的に検討する。東病院は、民間譲渡の場合の固定資産税や建物の減価償却、高齢社会を見据え、長期的視野で判断する。他の質問・ピヤシリスキー場について



具体的駐車場対策が望まれる市立総合病院

■ 遅きに失した対策本部

問 7 月 29 日の大雨災害の対応について、災害対策本部の設置が一度目の大雨警報発表からなんと 9 時間以上も過ぎてからであり、今後に大きな課題を残した。風連庁舎内の指揮命令系統も混乱していたが、現場の奮闘により災害のさらなる拡大を防いだ。町内会など地域との連絡を密にして、内水は⁴ん濫も含めた危険マップの作成、被災箇所の早期復旧などに取り組むべき。

答 風連庁舎にサブ本部を設置、意思決定する。他の質問・全国学力テストの結果について



川の中央に太いヤナギが繁茂して、流れを阻害している。
(風連地区・大沼川、神野隆一さん地先)

一 般 質 問



住民説明会の反応は

緑風クラブ

山口 祐司 議員

■ どうなる地域コミセン

問 コミュニティ施設管理に伴う住民説明会の反応と、問題解決に向けての考え方は。

答 地域での維持管理については、様々な面で戸惑いと不安の意見が出ている。コミュニティ施設は、「地域の連帯・文化の継承・福祉活動の拠点として設置されたもので、その目的を見失ってほしくはない」などの意見も多く、説明への理解を得ることが現時点で困難だと感じている。今後は地域のコンセンサスを得、公平・公正な考え方を基に、市民と行政との協働によるまちづくりの推進を基本としてとり進めていく。

■ 市民を守る災害対策



市民理解で制度活用

市民連合

竹中 憲之 議員

■ 指定管理者制度

問 指定管理者が導入されている施設の雇用数は。また、今後の指定管理者制度の活用については、どのような議論がされているのか。

答 平成 21 年度の公的部門を除いた 23 施設の通年雇用者 123 名、季節雇用者 82 名となっている。地元調達可能な事業については地元業者を基本に雇用確保の点からも慎重に対応したいと考えている。必ずしも指定管理者制度や民間委託が万能ではなく、嘱託職員化によって経費の節減を図るなど、今後も個々の事例ごとに対応していくことが必要と考えている。

■ 35 人学級制について

問 政府は平成 23 年度から、35 人学級の年次

問 災害対策本部の組織が、今回の豪雨災害に十分に機能したか。

答 分庁方式を取っている当市では、風連地区、名寄地区の間の情報伝達が十分でなかったことも踏まえ、今後は、気象状況の悪化時には、風連地区においてサブ本部を立ち上げ、指揮命令を行うことで対処していく。今後も被災された地域にはできるだけ早く情報を流し、早めの避難などに協力していただけるよう努めていく。



風連地区の各コミュニティ施設管理のあり方について議論が続いている

ごとの導入移行を予定している。庁内の議論と、予想される増加学級数は。

答 庁内議論とはなっていないが、情報収集に努め、適切に対応したいと考えている。なお、次年度では、1・2 年で名寄小と東小で 1 学級の増、西小で 2 学級の増、南小で 1 学級減が予想される。

他の質問・市民サービスについて(窓口問題等)
・観光振興と観光マップのあり方・農業問題について(排水機場・ごみ処分場のカラス対策)



1 学級増が予想される名寄小学校

一般質問



国保税の負担軽減を

日本共産党

川村 幸栄 議員

■ 国保基金 2億9千万円

問 国保準備基金⁵を使い、住みよさをさらに前に進めるために、市民負担軽減を。1984年の国保法改悪で国からの補助金などが減らされていることが市民への負担増となっている。全国的には国保税が高くて払えないため、保険証を取り上げられ資格証明書の発行が多くなっているが、名寄市の資格証と短期証の発行状況と対応は。収入に対する国保税の負担割合が1割以上になる。応益分（世帯・平等割）の減額はできないのか。

答 資格証はこれまで同様発行していない。短期証は216世帯に発行している。機械的な対応ではなく、きめ細かな対応を心がける。国

や道の財源手当は欠かせない。市長会などを通じ支援と拡充を求めていく。市独自の支援策は、国や道の交付金算定でペナルティーが課せられるので大変困難である。

■ 農産物の補償について

問 米価暴落、大雨被害で生産者は疲弊している。再生産可能な支援が必要では。

答 水田利活用事業などの交付金13億6千万円を見込んでいる。12月に交付予定である。

他の質問・地上デジタル化への対応は



再生産可能な価格保障と所得保障を

◆◆◆ 用語解説 ◆◆◆

1 メンタルヘルス・ケア

心・精神面について、積極的にその健康度を高め、常に「より良い心の状態をつくり、豊かで生き生きとした生活を送る」という考え方を示す。

2 フィルム・コミッション

映画等の撮影場所誘致や撮影支援をする機関で、地方公共団体（都道府県、市町村）か、観光協会の一部署が事務局を担当していることが多い。業務としては、ロケ地の選定の協力、撮影許可申請の代行等様々で、フィルム・コミッションを利用した日本映画では、「交渉人 真下正義」（札幌市、神戸市、茨城県）、「釣りバカ日誌10」（北九州市）などが挙げられる。

3 モチベーション

人が一定の方向や目標に向かって行動し、それを維持する働きをいう。「動機づけ」「やる気」と呼ばれることもある。

4 内水はん濫

河川の水を外水と呼ぶのに対し、堤防に守られた内側の土地（人が住んでいる場所）にある水を（内水）と呼ぶ。大雨などによって、内水の水はけが悪化し、建物や土地、道路が水につかってしまうことをいう。

5 国保準備基金

正式名称は「国民健康保険支払準備金基金」という。名寄市基金条例では、同基金について「国民健康保険事業の推進に要する経費に充てる」ことを目的に設置されているもので、基金活用は、目的に定める経費に充てる場合に限り処分することができる、とされている。

6 資格証明書

国民健康保険税を特別の事情なしに1年以上滞納した場合、保険証を返還し代わりに交付される。医療費を一旦全額自己負担する「資格証」、有効期間が3カ月、6カ月と短い「短期証」の2種類がある。

議会報告会開催 7月21日、22日

議会基本条例に基づき、本年度で2回目の報告会を開催した。2班編成で風連・智恵文地区各1カ所、名寄地区2カ所の4カ所で、7月21日、22日に実施し、延べ66人の市民に参加いただいた。

市民目線の質問続出

中野秀敏議員を実施責任者とする1班は、総合福祉センター、智恵文支所を会場に議会報告会を開催した。総合福祉センターには29人、智恵文支所は9人の市民が参加し、資料に基づく報告をしたが、市民目線の質問が相次いだ。

総合福祉センターでは、まず、望湖台センターハウスの今後の見通しについて質問があり、所管する経済常任委員会高橋伸典副委員長が状況を説明したが、「現状の建物、採算面を考えた時、継続は止めてほしい。サンピラーへ行ける手段の検討を」とする意見が出されたほか、通学路上マットの設置、道路整備、命のカプセルなどについて質問が出された。

一方、智恵文支所では、住宅リフォーム事業の継続を求める意見があったほか、JR名寄駅

横整備事業の進捗状況、給食費の未納解消、智恵文のひまわりを中心とする観光PR、食肉センターなどについて質問があり、それぞれ所管する常任委員会の正副委員長が状況を説明し、意見を担当部局に伝え、前向きに協議することを約束した。

このほか、市民の意見を聞き削減した議員定数問題、議会基本条例に基づき昨年から実施している議会報告会について、評価する意見もあり有意義な報告会となった。



総合福祉センターでは29人の市民が参加

市民参加の行政を目指す

黒井徹議員を実施責任者とする2班は、ふうれん地区交流センター、名寄市民会館を会場に議会報告会を開催した。

議会からは、1年間の活動報告として、定数削減・行政視察・政務調査費、22年度予算の概要、定例会及び臨時会審議状況、各委員会の状況、市の重要課題として、(仮称)複合交通センター整備事業、食肉センター及び農畜産加工施設整備事業などの説明報告をした。

市民からの意見等は、望湖台センターハウスについての請願で「趣旨採択」の意味を問うことと、存続を求める要請があった。駅横の整備事業については、説明不足に対する不満や、民間の一体的開発の着手が遅れていることに不信感が多く、今後も議会としても重く受け止めて

対応することを述べ理解をいただいた。その他は、議会基本条例の運用状況、政務調査費、議員報酬などについて質問があった。風連地区の福祉センターの跡地利用、瑞生団地の建て替え、除排雪事業、道路整備について要望があった。

報告会は、議会活動を市民に直接説明できることと、意見要望の生の声が聞けることに大きな意義があるので、今後も多くの市民の参加をいただきたい。



市民会館には13人の市民が参加、活発な意見が出された

議会スナップ



林活議連で草刈

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議員連盟(全議員加入)では、健康の森に植樹し、手入れをしています。今年も6月21日に草刈などの整備を行い、爽やかな汗を流しました。



市民ソフトボール大会 今年も参加

8月8日、強豪チームを相手に最後まで果敢に攻めこみ、最終回には貴重な一点を得ることができました。日頃の運動不足を反省しつつ、青空のもと、大きな声と笑いが弾けた楽しいひとときでした。

「こんにちは、名寄市議会です」

エフエムなよろ情報公開番組「こんにちは、名寄市議会です」が9月6日から、毎週月曜日・火曜日・木曜日の午後4時25分から放送されました。

議場で収録が行われ、各議員はマイクを前に議会とは違った緊張した表情で太田敏一局長(右側)の質問に答えていました。



委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は8月20日、9月21日に開催し、所管する総務部、教育委員会から懸案事項に関する説明を受けた。特に9月21日の委員会では、加藤市長が出席し、旧名寄市時代から長く建設が待たれていた文化ホールの建設場所について、

市民懇話会からは「まちなか」、「文化センター横」の両論併記で答申があったが、文化センター横に決定と報告があった。



(仮称)市民ホール建設予定地の市民文化センター西側用地

民生常任委員会

委員会は7月9日、8月4日、20日、9月3日開催し、付託請願第1号廃棄物処理施設整備事業(廃プラスチック油化施設)の採択について審査を行った。6月25日に道内の油化施設の視察を実施し、8月12日には講師2人による廃

棄物処理の委員会研修会を、全議員に呼びかけて開催した。この請願は4月から継続審査を行っており、その間請願者からも意見を伺い慎重に審査を重ねた。結論として、循環型地域社会を構築するために油化施設の必要性は認めつつも、さらなる調査・研究が必要であり、時期尚早と判断し、趣旨採択すべきものと結審した。

経済常任委員会

委員会は、6月15日から8月23日までに5回にわたり開催した。主に第2回定例会付託請願第2号望湖台センターハウス継続運営についての審査を行った。結果は、請願者の強い思い、経営状況の厳しさ等を考慮した中で、全会一致

で、趣旨採択すべきものと結審した。また、作況調査、大雨災害調査を実施。JR名寄駅横整備事業の進捗状況の報告を受けた。



昨年より早い収穫の前に水稻畑作の作況調査を実施

建設常任委員会

委員会は、9月1日に開催した。所管の建設水道部より、公営住宅家賃滞納者への対応について、家賃滞納整理等処理要綱案について、上下水道料金のコンビニ収納が10月から開始されることについて等の説明を受けた。その後、

旧風連高校改修工事、19線道路改良舗装工事(加東橋上部工)北斗・新北斗団地公営住宅建設工事の進捗状況を視察した。



19線道路 加東橋上部工の視察

議会運営委員会

委員会は9月3日、21日に開催し、第3回定例会の会期・日程について協議した。会期は9月7日から30日までの24日間とした。議案第1号名寄市パブリック・コメント手続条例の制定についてほか第2号、第3号の新設条例の

制定については、総務文教常任委員会に付託すること、また、決算の認定議案は、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し付託して審査することを確認した。なお、委員会の正副委員長に、竹中憲之委員長、持田健副委員長を、指名推薦することを確認した。一般質問は13人の議員が予定していることを確認した。

へこたれない



激動の2010年・・・
名寄市風連町 中村 ともみ

日本中が冬季オリンピックやワールドカップサッカーで歓喜し、観測史上まれに見る猛暑に見舞われたこの年に、高校卒業後から8年半生活した札幌に別れを告げ、生まれ故郷名寄市風連町に戻って来たという私もかなりの激動の年を過ごしています。名寄に戻って、都会にはない人とのつながりや自然のありがたさに改めて気付かされ、昔と変わらない景色にちょっぴり感動し、そして何よりもこの町に生まれ育ったことに感謝の気持ちでいっぱいです。2010年もあと2カ月。来年も良い年となるよう、笑顔を絶やさず残りの日々も過ごしていきます。



全国消防救助技術大会に出場して
上川北部消防事務組合消防本部 高橋 正卓

号砲が鳴り、風を切る。ロープをさばき、要救助者を助け出す。チーム4人が協力しあわなければ成り立たない。ほんの42秒という一瞬とも言えるこの競技を行うため、8月27日に全国消防救助技術大会（京都）に参加させていただきました。本番では、暑さと緊張との戦いでしたが、「今までのプロセスを信じることで結果は後について来る」という思いでやりぬきました。ここまで来れたのも、すべて、ずっとチームを支えてくれた職員の皆様と、いつも声援を送っていただいた市民の多くの皆様のおかげだと思っています。ありがとうございました。

議会日誌

- 6月7日 ・上川地方総合開発期成会定期総会(旭川市)
- 22日 ・議会報特別委員会
- 25日 ・民生常任委員会請願審査に伴う視察(札幌市)
- 30日 ・民生常任委員会
- 7月1日 ・全国高速自動車道市議会協議会正副会長・監事・相談役会議(高松市)
- 5日 ・全国市議会議長会基地協議会第73回理事会(東京)
- 6日 ・神奈川県秦野市議会行政調査来名
- 7日 ・茨城県石岡市議会行政調査来名
- 9日 ・民生常任委員会
- 12日 ・経済常任委員会
- 13日 ・鳥取市議会行政調査来名
- 14日 ・各種期成会夏季合同要望会(東京)
- 15日 ・全国市議会議長会第180回理事会
- 20日 ・経済常任委員会
- 21日 ・旭川市議会行政調査来名

- ・議会報告会
- 22日 ・議会報告会
- 23日 ・三重県熊野市議会行政調査来名
- 8月4日 ・民生常任委員会
- ・全国市議会議長会基地協議会北海道部役員会(旭川市)
- ・埼玉県所沢市議会行政視察来名
- ・愛知県岡崎市議会行政調査来名
- 20日 ・総務文教常任委員会
- ・民生常任委員会
- 23日 ・経済常任委員会
- 24日 ・議員協議会
- 9月1日 ・各会派代表者会議
- ・建設常任委員会
- 3日 ・議会運営委員会
- ・民生常任委員会
- ・議会報特別委員会
- 6日 ・経済常任委員会
- 7日 ・各会派代表者会議

編集後記

長期予報の「冷夏」を完璧にひっくり返して、1946年の統計開始以来一番暑い夏を記録。しかし上川の水稲作況指数は「97」(9月15日現在)で「やや不良」とのこと。7月29日の大雨災害もあり、異常気象を実感した夏でした。

今定例会では、13人の議員が大雨災害対策などの一般質問を行いました。また、加藤市長からは、「文化ホール建設地は文化センター西

側」。「望湖台センターハウスは23年度末で廃止」との方針が示されました。既存施設の廃止と新たな施設の建設について、議会として議論の集積が試されます。

10月1日から、たばこが大幅値上げとなりました。平成21年度の市たばこ税収入が対前年度1千4百万円減の2億9百万円。税収より、周りのため、そしてご自身のために禁煙を。(勝)

